



希望の標

浜田市立浜田東中学校学校便り 第3号

令和8年6月19日(金)

〒697-0006 浜田市下府町699

TEL 0855-28-3210

FAX 0855-28-3211

E-mail higashi@hamada.ed.jp

文責 小松原 昌宏



浜田東中HPは
こちらから

【学校教育目標】

自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力の育成



例年になく、梅雨入り前に台風6号が上陸し、太平洋側を中心に被害が出ました。山陰地方では大きな被害はなかったものの、今後の大雨被害が心配される季節となりました。学校前には下府川も流れ、増水等の心配もあります。登下校を含め、安全指導を行っていきたいと考えています。ご家庭でも、防災についての確認をしていただきますようお願いいたします。

部活動での成長を実感! ~浜田ブロック大会を通して~

5月27日の陸上競技を皮切りに、3年生にとってはこれまでの部活動の集大成となる浜田ブロック大会が開催されました。本校からは、陸上競技、野球、ソフトテニス、バスケ、トボール、バレーボールに出場し(体操競技はクラブチームから出場)、熱戦を繰り広げました。詳しい結果については、右のQRコードからご覧ください。(HPに掲載しています)

大会では、自己記録の更新をめざして挑戦する生徒、仲間とともに磨いてきた技を発揮する生徒、戦う仲間を鼓舞し声援を送る生徒など、それぞれが目標に向かって一致団結し、真剣に取り組んでいる姿を随所で見ることができました。勝って喜ぶ姿がある一方で、残念ながら思いが届かず悔し涙を流す生徒もあり、試合後の様子は悲喜こももてはありましたが、それぞれが次の目標を見つける大切な機会になったのではないかと思います。最後までひたむきに、そして力の限りパフォーマンスを見せてくれた生徒の皆さんに大きな拍手を送りたいと思います。また、暑い中、生徒たちの姿を熱心に応援していただいた保護者や地域の皆様にも厚くお礼申し上げます。



浜田ブロック大会の
結果はこちらから



さて、中学校における部活動は、現行の学習指導要領において以下のように示されています。

「教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するもの…(以下省略)」

そして、「異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高い」ことも示されています。

部活動は、教育課程外の活動として位置付けられています。しかし、普段の学校での授業や特別活動などと関連を図ることで、単にそのスポーツや芸術活動を「すること」ととどまらず、科学的に考えたり、そのよさを実感したりしながら、生涯にわたってスポーツや文化活動に関わっていくとする態度を育成することにつながるものと考えます。また、部活動を通して培った粘り強さや向上心、団結力なども、日頃の学校生活を支える重要な学びです。

さらに、部活動などにおける生徒の活躍は、地域の方にとっても元気や勇気となり、地域全体の活気にもつながるものと思います。「地域とともにある学校」として、生徒たちの頑張る姿が地域への貢献となり、また地域の方からの応援が生徒の背中を後押しするという好循環が、ふるさとへの愛着にもつながるはずです。現在、部活動の持続可能なあり方について検討が進められ、地域展開(地域移行)や地域クラブチームとの連携などの協議が続いていますが、上記の教育的意義をしっかりと踏まえ、生徒・教員・保護者・地域にとってよりよいあり方を模索していきたいと考えています。



ブロック大会が終わり、県総体へコマを進めた選手の皆さんには、さらなる高みを目指して挑戦してほしいと思います。また、新体制でスタートを切る部活動の皆さんは、ぜひ具体的な目標を立ててそれを共有し、その実現をめざした活動を行ってください。そして、部活動に一区切りをつけた3年生の皆さんには、後輩にその思いを託すとともに、自らの新たな目標に向かって歩みを進めてほしいと思います。教職員一同、皆さんのこれからの歩みを力強く応援しています。

また、保護者や地域の皆様には、来る県総体や吹奏楽コンクール等での浜田東中生徒の活躍に、さらなるご声援をいただきますようお願いいたします。

自分で計画を立ててテストに臨む

5月18日(月)に1学期の中間テストを行いました。1年生にとっては初めての定期テストであり、どのくらいできるか心配していた生徒も多かったようです。

学校では、テストの1週間前に範囲を知らせ、計画的に学習を進めるよう指導しています。これには、以下のような「自己調整力」を身につけてほしいというねらいがあります。

○見通しをもつ: これまでの学習を振り返り、重点を置くポイントや時間・分量を自分で考える。

○軌道修正する: 計画通りに進まない時は、計画表チェックと担任のアドバイスをもとに見直す。

テストが終わった後は、答案の確認だけでなく、これまでの授業や家庭学習の取組方法を点検することも大切です。

もうすぐ期末テストを迎えますが、中間テストでの振り返りを次のステップに生かし、学力向上をめざしてほしいと思います。



生徒の振り返りから(一部抜粋)

- ・ドラドラしている時間を見直して勉強することができた。・・・(中略)・・・計画通りにいかなかった時、その日の予定をどう挽回するかを考えられた。上手いかないこともあったからそこを次の期末テストでどうするかを考えていきたい。(1年生)
- ・自分は集中力がなくてやりきれないことが分かった。でも、当たり前だけどちゃんと課題を期限までに終わらせる力があることも分かった。(1年生)
- ・ワークを何回も解いてやらないと覚えられないからその分やったから点数は取れた。(2年生)
- ・今回のテスト勉強は自分的にも結構頑張れたし、1つ1つ丁寧に取り組むことができてよかった。今回だけでなく次の期末テストのときもこれくらいできるよう頑張りたい。(3年生)

よりよく人との関わるために ～3年生 接遇講座～

6月12日(金)、3年生の総合的な学習の時間に、「オフィスらしく」の河上恵美さんを講師に招いて接遇講座を行いました。ねらいは、「よりよく人との関わるためのマナー」についてです。河上さんから、接遇マナーの5原則(挨拶・返事、身だしなみ、言葉遣い、姿勢・態度、表情)に気を付けると、相手に好印象だけでなく誠実さを感じてもらえることができると教えていただきました。3年生はこれから職場体験学習や、高校のオープンスクール、高校受験などがあります。今回の学習を生かして頑張してほしいと思います。(担当:川中)

生徒の感想から(一部抜粋)

- ・今日、お話を聞いてわかったことは、挨拶や正しい姿勢など、聞いてみれば当たり前のことだらけだったけど、やっぱり当たり前が当たり前でできていないとデメリットが多いと思った。河上さんのお話のお陰でマナーについて深く知ることができたし、これからの生活にも取り入れてみようと思った。
- ・接遇講座を受けて、人と接することの大切さ、相手を大切に思う気持ちを行動や言葉できちんと伝えることを大切にして沢山の人と関わっていきたいです。また、マナーや礼儀は普段からやっていないといざという時にできないということがわかりました。



地域ぐるみで育む中学生の可能性と地域とのつながり～学校運営協議会開催～

5月21日(木)、今年度初めの学校運営協議会を行いました。今年度は、地域の方やまちづくりセンターの主事様に加え、新たにPTA会長様にも委員として加わっていただき、学校運営方針の承認や、地域の参画について意見交換を行いました。

会議では、学校での学びを地域社会に還元し「生きて働く知識・技能」を育てること、また地域活動を通じて「自己存在感や自己有用感」を育むことをめざし、熱心な議論が交わされました。

★地域イベントへさっそく参加!

さっそく地域コーディネーターの方からお声がけいただき、地域イベントのスタッフとして4名の生徒が参加しました。地域の方との交流や役割を担った経験は、生徒たちにとって大きなやりがいや達成感につながったようです。今後とも温かいご支援をお願いいたします。

★地域サポーター募集のお願い

今年度、以下の学習活動や学校行事において、地域の皆様のご協力をお願いしたいと考えております。

①ふるさと(地域)学習 ②職場体験学習 ③ロードレース大会 など

ご協力いただける方は、右のQRコードから「地域サポーター」のご登録をお願いいたします。内容については、別途ご案内します。皆様のお力添えを心よりお待ちしております。

